

人材育成ゆふいん財団ニュース

CONTENTS

○特集／行ってきました！ 『日韓交流の旅』

- *事務局のふれあい旅日記
- *団員 韓国訪問記(抜粋)
- *子ども使節団 引率所感

○ゆふいん元気TOPICS

- *ゆふいんこども音楽祭

○木綿の会INFORMATION

今年で5回目となる「ふれあい交流子ども使節団」派遣事業を、8月25日(金)～8月27日(日)にかけて行ないました。訪問地は今年も韓国です。

6月末に団員募集を開始し、23名の活発な子どもたちのご応募をいただきました。その後、選考委員の方々による面接審査を行いました。みなさん何らかの目的を持った応募者ゆえ委員の方々も非常に苦労したようですが、その中から12名の団員が最終的に決定しました。

■発行日／2006年
10月20日 第40号
■発行／
(財)人材育成ゆふいん財団
■発行人／理事長 溝口薫平
■編集責任者／
常務理事 佐藤 晶
■編集／
事務局企画委員会編集部
■住所／
湯布院町川上2863
(クアージュゆふいん内)
TEL85-4748
FAX85-4759
■E-mail／
zd21yufu@dream.ocn.or.jp

特集／行ってきました！ 『日韓交流の旅』レポート



7月からは準備に大忙しです！団員の保護者の方々にお集まりいただき、説明会を開きました。大切な子ども達を預けてくださる上、言葉の通じない、電話もできない『海外』ですから、説明一つにも力が入ります。そして、パス

ポート申請を行い、着々と出発へ向かって進んでいきました。8月に入り、3度にわたる韓国語勉強会を開催。なんとか自己紹介を韓国語でできるようになりました。また、韓国の歴史などを教えていただき、いよいよ出発です！

第五回ふれあい交流子ども使節団団員名簿

団長	峰 親則	財団評議員議長
団員リーダー	斉藤 留莉加	湯布院中学校3年
団員副リーダー	横尾 拓也	湯布院中学校3年
〃	秋吉 祐香里	湯平小学校6年
〃	斉藤 周留	由布院小学校6年
〃	攝津 知子	由布院小学校6年
〃	三井 寛貴	塚原小学校6年
〃	米田 慧司	由布院小学校6年
〃	足利 瑤子	湯布院中学校1年
〃	立川 花帆	湯布院中学校1年
〃	濱 美咲稀	湯布院中学校1年
〃	山野 結花	湯布院中学校1年
引率者	霜野 圭一	財団評議員
引率者	恒吉 美智子	ボランティアスタッフ
引率者	後藤 郁子	財団事務局

事務局の ふれあい旅日記



《第1日目》 (8.25)

朝8時15分に市役所湯布院庁舎前に集合しました。集まってくる子ども達の嬉しそうな笑顔を見て、すごく楽しみにしてくれていたんだなと改めて実感し、絶対素敵な旅にしようと、強心に決めました。

出発式では、溝口薫平理事長が『たくさんのごことを吸収してください。そして笑顔で帰ってきてください。』と激励、また、清永直孝教育長も『今日皆さんが行くソウルは、実は私の生まれ故郷です。とても懐かしい土地です。私の代わりにソウルの地を肌で感じてきてください』とご挨拶いただきました。

出発式に出席して下さった、行政、学校関係者の方々、財団役員の方、大変心強いお見送りありがとうございました。

ほとんどの子ども達が初の海外。初めてパスポートを持って、初めて出国手続きをして、緊張しているのでは・・・?と思いきや、その全てをとっても楽しんでいる様子。子どもって、こうやっっているんな事をその瞬間に吸収できるんだなと感じました。

そして無事韓国へ。そのまま



交流会場となる教会へ移動。教会では11名もの大学生と教会関係者が出迎えてくれました。

はじめに、韓国の方々が自己紹介。続いて私たちの番。勉強会で習った韓国語を披露する時です。まずはリーダーの斉藤留莉加さんが「みなさんとお友達になりたいです。短い時間ですがよろしくお願いします。」と韓国語でしっかりと挨拶。その後1人ずつ韓国語で立派に自己紹介ができ、とても素晴らしい自己紹介の時間でした。

それから、練習していたリコーダーにて「富士山」と「ふるさと」を演奏。この曲名の紹介は、副リーダーの横尾拓也君が韓国語でしてくれました。そして、湯布院中学校1年生の立川花帆さんが『日本、大分の有名な作曲家、滝廉太郎の曲で踊ります』と浴衣持参で日舞を披露！会場にいる全員がうっとり……。私も必死に写真を撮りつつ、見とれてしまいました。牧師さんも大変喜んでくださり、全員で記念撮影。

その後、そこから10分程バスで移動し、教会の方や、大学生の皆さんとともにお食事会。大学生は、現在一生懸命日本語を勉強中ということで、子ども達は日本語の講師になったり、韓国語の生徒になったり、とても楽しいお食事会になりました。料理も美味しいし、最高に素敵なひと時でした。

さて、楽しい時間を過ごした後、みなさんとお別れし、宿泊先のホテルへ。どんどん都会へ入っていくにつれ、バスの外の景色にみんな興味深々。看板も何もかも全てハングル文字だし、通りには屋台もたくさんでてるし、屋根の形は日本と違うし、異国の風景に韓国へやって来たという実感を噛み締めていた様子でした。

ホテルは仁寺洞という骨董品屋がたくさんある通りの近くで、



その賑わいに、みんなじっとしてられない様子。現地添乗員の金(キム)さんが、明日に支障がないならご案内しますよと声をかけてくださり、急遽1時間ほどの散策を決定。

行ってよかった！とてもおもしろいお店を発見。子ども達も見入っていました。クルタレ？という王宮の人が食べていたという蜂蜜のお菓子。内容は、子ども達がしっかり覚えているはずです！訊ねてみてくださいな。

そして、韓国での初めてのお買い物は「コンビニ」。「ちゃんとウォン(韓国のお金)で払えた？」との質問に、「当たり前でしょ♪カムサハムニダ(ありがとう)も言えたよ！」との返答。子ども達の方が一枚上手でした。

そうして、『初めて』だらけの長い1日が終了しました。





事務局の ふれあい旅日記

《第2日目》 (8.26)

この日は韓国の歴史について学んだあとに、ロッテワールドで楽しめます！やっぱり朝からテンションの高い子ども達。体力持つかなあ？

まずは、世界遺産に登録されている『水原華城』を見学。城と言っても周囲が5km以上の城壁や門のある、ひとつの町です。団員も韓国語勉強会で少し勉強していたので、その城壁に関心を示していました。また、門の天井には立派な龍が描かれていました。金さんのガイドを聞きながら200年の歴史を感じ、世界遺産の素晴らしさを目で見て、肌で感じる事ができたようです。

次に『韓国民俗村』に行きました。昔の韓国人がどのように暮らしていたのかという説明を受けたのですが、昔の人の知恵には驚かされます。特に韓国で有名な『オンドル』。ひと言で言えば床暖房なのですが、その歴史が素晴らしかったです。そして今もそのオンドルは、韓国にはなくてはならないものになっています。

暑い中、外を歩き回り、子ども達は少し疲れ気味だったため、添乗の方がみんなにお水を買っていただきました。

ひと通り回った頃『農楽ノリ』という韓国の伝統的な踊りが始まっていたので、楽しい音楽と素敵なショーを観覧

しながらしばし休憩。

そして、この日のお昼はどうどんすき。辛いのが苦手だと言っていた子もこれなら大丈夫。おいしいダシのスープは疲れた体に染み渡りました。辛いのが好きな子は、キムチをた〜っぷり入れて、スープの色は赤くなっていました。

そして、いよいよ『ロッテワールド!』。フリーパス券をいただいて、各班ごとに行動開始です。(引率者が1人ずつついています)ですが週末ということもあり、どの乗り物も長い行列が……。しかも案内標識はほとんどハングル語か英語。

「waiting time 30 minute かな。ふむふむ」

「ここはexitねえ。ふむふむ」と話しながら、行きたい場所を探していました。これからはがんばって英語の勉強をして、立派な国際人になってね。

夜ご飯は、ミニミニ韓定食。王宮料理や祝い事の時に欠かせないお料理の説明を金さんにしていただきながら、おいしくいただきました。

今日は1日歩き過ぎたのか、疲れが出て来ている様子。ホテルに戻ってしっかり休みましょうね……。とは言っても今日は最後の夜。おとなしくできるはずもなく、また仁寺洞へ。このとき子どもたちは昨日見つけたおもしろいお菓子の店をまた見学した様子。

夜は、中学3年生から『僕達がしっかりと管理するから、みんなで最後のパーティーをさせてほしい。』との提案。自分勝手にしようとするんじゃなくて、こうして了解を得ようとする心に感動してしまいました。

こうして、歩きまわった2日目も疲れのおかげ？か、パーティー後すぐに夢の中へと入っていったようです。

事務局の ふれあい旅日記

《第3日目》 (8.27)

いよいよ最終日。

なんとこの日は雨。まずは『青瓦台』という大統領官邸を見学。ここは写真撮影のできる場所が決まっていたり、規則がたくさんありました。その後、『徳寿宮』で「衛兵の交代式」を見学する予定だったのですが、雨のため中止。金さんのガイドで建物を一つずつ見学。そして、この日の昼食はビビンバ。その美味しさにびっくり！子ども達も大感激で、キムチをたくさん入れてほおぼっていました。

そして、いよいよ仁川空港へ。3日間はあっという間に終わりです。金さんともお別れをして、飛行機へ。

大分空港に到着後、市役所のバスにお迎えに来ていただき一路湯布院へ。バスの中では、疲れている子ども達はぐっすり眠るだろうと思っていたのですが、最後の最後まで元気。「帰ってきちゃったねえ。」

「楽しかったね」としみじみ話していました。湯布院に到着した時、お迎えのご家族に向けた笑顔はとても輝いていました。この「ふれあい交流子ども使節団」事業、12名という少数の子ども達の交流体験ではありますが、その子どもたちが将来の夢へ向かって歩んでいく時に、大きな糧となってくれるはず。

3日間、お疲れ様でした。



『韓国での思い出』
湯布院中学校 3年
齊藤 留莉加

私は、一番年上だった事もあり、リーダーになりました。リーダーの仕事をする時、副リーダーの横尾君も手伝ってくれたりしたので、とても助かりました。団員のみんなも、しっかりしてくれていたのも、とても楽しい旅となりました。二日目、民族村では、昔の韓国や、その暮らしなどを学びました。とてもキレイなところで、いろんな物や人、家などに目がとまりました。

楽しい時間はすぐに去ってしまうなあとしみじみ思いながら家で寝ました。一緒に行ったメンバーが、あのメンバーでよかったなあと思います。とても楽しかったし、勉強になったので良かったです。いい思い出ができました。

「ありがとう。」



『初！海外』
湯布院中学校 3年
横尾 拓也

「やったああ！」と、思った時が、韓国に行くための面接に受かった時でした。うれしさと胸がいっぱいでした。

そして、顔合わせ会があり、「この人たちと行くんだな」と思い、「楽しい思い出たくさんつくろう」と思いました。何日かすると、韓国語の勉強会があり、とても覚えるのに大変でした。自己PRが言えるようになり、とても、うれ



たです。また韓国に行きたいです！

『韓国で学んだこと』
由布院小学校 6年
齊藤 周留

1日目、ソウルの大学生と交流会をしました。残念ながらソウルの小中学生は、すでに、学校が始まっていたので、ふれあうことができませんでした。しかし、大学生たちと一緒に、楽しく夕食をいただきました。

2日目、韓国民俗村や水原華城では、韓国のたくさんの文化を学ぶことができました。ロッテワールドでは、ほぼ全ての乗り物が30分以上待たなければ、乗れませんでした。おばけ屋敷に入りました。ヘッドホンをつけて、その中から聞こえてくる音より、同じ班だったゆかりちゃんの叫び声が聞こえました…。3日目も青瓦台や仁寺洞を見学しました。そしてとうとう飛行機離陸です。湯布院についてみんなとお別れして、解散しました。こうして長い旅が終わりました。

『楽しかった3日間』
由布院小学校 6年
攝津 知子

私は韓国で、いろんな事を学べて、たくさんの思い出を作ることができました。

1日目は交流会で、韓国語で自己紹介をした事がすごくいい思い出になりました。韓国の大学生さんたちは、私たちにとても優しく接してくれました。言葉は通じなかったけど身振り手振りで、伝え合うことができました。その後に行ったホテルでは、オートロックだったため、かぎを4回も閉じ込めてしまって、フロントの人に顔と部屋の番号を覚えられた事は、とても恥ずかし

しかったです。

そして、飛行機に乗って韓国に行きました。海外に来たな一という気持ちでした。交流会が始まり、韓国の人たちはみな、あたたかかったです。

最後の日、おみやげ屋に行き、たくさん買いました。飛行機に乗る時は、心の中で「まだ帰りたくなかバイ」と思いました。とても楽しい2泊3日でした。この韓国行きを許してくださったみなさまにとっても感謝しています。ありがとうございました。

『かんこく』
湯平小学校 6年
秋吉 祐香里

湯布院庁舎では、ほとんど知らない人たちばかりだったので、少し不安でした。飛行機ではほとんどの人と仲良くなったと思います。

着くと、ほぼ文字が韓国語なので、「あ～ここは韓国なんだな～」と思いました。そして、韓国の人たちとの交流をしました。自己紹介では、少し緊張して、まちがえてしまいました。その後、リーダーを吹きました。夕食も韓国の人と一緒に食べました。

3日目は首相を見に行きました。雨だったけど人がたくさんいてびっくりしました。昼はビビンバでとても韓国らしくておいしかったです。私は、「もっと韓国にいたかったー」と何度も何度も言いました。飛行機では、ちょっと悲しかったけどもうすぐ日本に帰れると思うとうれし

い思い出になりました。2日目は、楽しみにしていたロッテワールドです。人がたくさん並んでいて2つのアトラクションしか体験できませんでした。けど、買い物がたくさんできたので良かったです。3日目の朝食は、アワビのおかゆでした。3日間で食べた料理の中で、一番おいしかったです。

湯布院に着いたらお母さんたちがお迎えに来ていました。無事に帰りつけて良かったです。夏休みのすごくいい思い出をつくる事ができて良かったです。

『韓国の思い出』
塚原小学校 6年
三井 寛貴

ぼくは飛行機に乗るのも韓国に行くのも初めての体験でした。韓国の仁川空港に着いて、バスに乗り、交流会に行きました。話をした後リコーダーで演奏しました。うまく吹けてよかったと思いました。その後夕食を食べました。

2日目は民俗村やロッテワールドに行きました。民俗村には野生のリスがいたりしてとてもおどろきました。ロッテワールドでは4Dシアターがすごかったです。

この2泊3日の韓国へ行くのがすべて初めてで不安でした。でも今はとても楽しかった思い出です。家族、気をつけてくれたり可愛がってくれた中学生、いろんな話をした同級生の皆のおかげだととても感謝しています。

『残り2千ウォンの旅』
湯布院小学校 6年
米田 慧司

ぼくは韓国人を「はげしい!」とか、「大げさ」という感じで考えていたけど、本当は日本人よりやさしいぐらいなんだなあと思いました。それと、

韓国では韓国らしい個性が出ていました。たとえば道路が右側に走っていることがびっくりしました。バスも右側にドアがあって運転手の方に行きそうになりました。

バスガイドさんは「世宗大王と豊臣秀吉がいなかったら今の韓国は韓国じゃなかった」と言っていました。

この『日韓交流の旅』に行くために費用を出してくれた、おじいちゃんに感謝したいなあと思いました。またこの使節団ができる 때가きたら、ぜひ参加したいと思います。

『私の行った韓国』
湯布院中学校 1年
足利 瑤子

韓国で1日目にあった交流会は同じ年代の小中学生が来ていませんでした。本当は同じ年の人たちと交流したかったので残念です。みなさんとスキヤキらしきものを食べました。食べ方とかも教えてもらいました。とても楽しい食事でした。水原華城は時間がなくて南の門にはいけませんでした。私は龍の門が一番すごいいと思いました。民俗村ではショーをやっている男の人たちが頭をまわしながら踊っていました。ロッテワールドでは、入り口に入って集合時間を聞かないといけないのに店のおばさんにつかまってしまい、ずっと話していたら誰かが呼んでくれて助かりました。

いろんな事があったけど色々学べて良かったです。

『韓国に行って』
湯布院中学校 1年
立川 花帆

バスに乗り込んで同級生と話しをしながらもドキドキワクワクしていました。飛行機に乗ってから出た機内食が、何か日本離れしているサンド

イッチでちょっとびっくりしました。韓国に着いて、外に出た時ブワッとむし暑かった。交流会では、リコーダーを吹いたり私は、踊りをしました。踊りは、韓国では、めずらしいと思うので韓国の人を楽しんでくれるといいと思います。交流会で会った人と友だちになって色々なことを話しました。帰るときには「アンニョン」と言えるような友だちになりました。

韓国は、とてもいい所で、すごく楽しい所だからまた機会があればいきたいです。

『韓国へ行って・・・』
湯布院中学校 1年
濱 美咲稀

飛行機に乗る前に、出国審査というのがあって、私にとっては、パスポートをとったのも初めてだったし、出国審査も初めてで緊張しました。

仁川空港を出て、バスで教会へ行き、交流会でした。韓国語で自己紹介をして、今まで練習してきたリコーダー演奏をしました。ホテルに行き、荷物を置いて、仁寺洞通りへ行きました。コンビニにも行ってみると日本と同じようなおかしやジュースが売ってありました。2日目の世界遺産水原華城の門の裏の様子がすごくてびっくりしました。

この子ども使節団での経験は、私をひとまわり大きくしてくれたと思います。この経験をこれから、いかしていきたいです。



『韓国の思い出』
湯布院中学校 1年
山野 結花

飛行機に乗り、1時間40分ほど行くと、韓国が見えてきました。バスが出発すると、韓国の川が見えました。なんだか水がとても汚れていました。交流会では、ほとんどの人た

ちが大学生でした。むこうから話しかけてくれたのでたくさん話をしました。韓国の人たちは日本のタレントなどをたくさん知っていて、とても楽しかったです。

ホテルにつくと夜の街に行きました。空に星が見えませんでした。ガイドさんに聞くと「韓国は空が汚いから」と

言われました。韓国はもっときれいな所だと思っていたのでおどろきました。

この旅では、いろいろな学年の人とも仲良くなれたし、とても勉強になりました。またこのような旅があればぜひ参加したいと思います。



子ども使節団に同行して

『アンニョンハセヨ』（こんにちは）

《百聞は一見に如かず》3回の事前学習会でハングル語、韓国の歴史や民俗を学び、一行15人の子ども使節団は出発。初めての経験に緊張感漂う中にも期待に夢膨らむ姿を目の当たりにしました。一人ひとり審査官に呼ばれての出入国の審査、ソウル市教会における交流会、韓国民俗村、世界遺産「水原華城」、大統領官邸、徳寿宮、ロッテワールド、仁寺洞や免税店での買い物、韓国の食事等。戸惑いながらも、いろいろな場面で



5感を通して、直接韓国とのふれあいを体感・体験し、子どもたちは大きく逞しくなって来ました。帰途に就く子どもたちの輝く瞳、自信に満ちた表情が印象的です。

《継続は力なり》多くの関係者、市民の方々のご理解とご支援を戴いて国際交流も5回を重ねてきました。今後もこの事業が広く世界に、長く継続されることを希望します。

『カムサムニダ』（ありがとうございます）

財) 人材育成ゆふいん財団 評議員 議長
子ども使節団々長 峰 親則

『輝け22の瞳』

初めての外国旅行—「安全」すら意識して行動しなければならないという不安や緊張があった彼らを迎えてくれたのは、にこやかな韓国の学生たちでした。初めは緊張気味に、かなり控えめに自己紹介をしていた彼らも、食事会が終わる頃には、英語やジェスチャーを駆使して会話をしたり、一緒に写真を撮ったりして、すっかり楽しんだ様子でした。出来るだけ多くの文化に触れて欲しいという私達の気持ちをよそに、あくまでマイペースに日程を進めていく彼ら—そんな順応性に、安心感とちょっぴり物足りなさを感じていました。しかし、ハングル語



に囲まれたテーマパーク、電卓を片手にしたウォンでの買い物、初めて味わう異国の食事など、実はタププリ異文化につかった3日間だったのだと思います。多くのことを見て、感じて、考えた、この22の瞳がこれからもずっと輝き続けますように…。そして、この貴重な体験が、未来の彼らにとってかけがえのない一瞬となりますように…。

最後に、この様なすばらしい体験の場を支えて下さっているゆふいんの皆様に

『カムサムニダ(ありがとうございます!)』

財) 人材育成ゆふいん財団

評議員

霜野 圭一

かつては自分もそうであったにも関わらず、今はあまり接することのない子ども達。小学6年生から中学3年生という、これまた難しそうな年齢と同じ時間を過ごせるのかという不安は、事前の韓国勉強会と実際の韓国訪問で無駄な心配だと分かりました。「最近の子どもは(若者)・・・」という言葉はいつの時代になっても使われるのでしょうか、私の時代から変わったことといえば、子どもの時分から海外へ出かける機会がある！ということでしょう。その年齢であればこそその視線で韓国を見て、時に子どもらしい失敗もして、「私もこん



な子どもだったな・・・子どもの本質はそう変わらないのかも。」と気付かされました。

自分自身が学生である時代から家庭をもって子どもを育てる側になるまでの、ちょうど間に位置する私のような世代が、彼らの世代と交流することはお互いにとっての人材育成になるのではないのでしょうか。今回彼らと過ごした時間は、これからの私にとっても、有意義な経験になったと思います。

財) 人材育成ゆふいん財団

ボランティアスタッフ

恒吉 美智子

ゆふいん元気TOPICS

第6回 ゆふいん こども 音楽祭

～親子で楽しむ コンサート～

ピアノ・歌・金管楽器・打楽器・湯布院の子どもたちによるファンファーレ隊・湯布院少年少女合唱団の方々による手作りのイベントです！ぜひ、足をお運びください♪



11月3日（金曜日）

前夜祭 19時～20時



11月4日（土曜日）

【昼の部】

13時30分～15時30分

【夜の部】

18時30分～20時30分

子ども達に生の音楽を楽しんでほしい—という思いからスタートした「ゆふいんこども音楽祭」。大勢の方々に支えられて今年、第6回を迎えます。

自分たちが美味しいと思うもの、食わず嫌いじゃ勿体ないというものを「一口いかが？」と差し出す。口に合わない子もいれば、もう一つ！と興味をそそられる子もいたり。お腹一杯食べてくれたら、それこそ作り甲斐があったというもの・・・それがこの音楽祭の有り方だと思っています。ほんのひとつき。その場所で

しか味わえない音楽に触れる楽しさを、一人でも多くの子に経験してほしい。様々なメロディー・リズムがどんな風に子どもたちを刺激してくれるのか、その反応はまた、私たちのパワーへとつながっていきます。

今年のテーマは「アクセント」。ユーフォニアム・ピアノ・吹奏楽・歌・そして見た事のない楽器にきくと驚かれることでしょう。

どうぞお楽しみに！

ゆふいんこども音楽祭
実行委員長 高倉 孝子

未来に夢を！ 助成金交付事業*公募のお知らせ

◆応募の資格◆

湯布院町内の団体、グループ、個人とし、主体的に活動、事業の推進ができることに限ります。

◆応募方法◆

所定の様式に従って応募してください。
詳細は、事務局までお問い合わせください。

現在、思案中の企画をお持ちの方。夢を持っている方。ぜひ、企画実施に向け、ご応募ください。内容に応じ、最高額30万円までの助成金が交付されます！

※応募の締切※

平成18年12月29日(金)

財団事務局 *Tel 85-4748 Fax 85-4759

【お詫びと訂正】

6月に発行したVol. 39の3ページ目に『平成18年度収支予算書』を掲載しましたが、上段（収入の部）に間違いがありました。基本財産取り崩し収入の1千万円を科目に計上していないにもかかわらず、当期収入合計には、組み込まれているため数字に大きなずれがありました。

申し訳ありませんでした。ご連絡いただいた方、ありがとうございます。今後ともご指導の程、よろしくお願いいたします。

財) 人材育成ゆふいん財団
事務局：後藤

木綿の会 INFORMATION

未来に夢を!「木綿の会」 会員募集のお知らせ

《木綿(ゆう)の会とは・・・》

各団体が取り組んでいる事業や、次世代を担う子ども達を応援していく人材育成ゆふいん財団を、精神的に、財政的に支援する応援団です。

会員の皆様の貴重な会費が、若い世代を育む環境を作り、優秀な人材を輩出し、より豊かで安心して暮らせる安らぎの町を生み出します。

会員であることの特典は特に設けていませんが、町の将来を考え、次世代を担う若者育成を自分も何らかの形で参加したい、力を貸したいとお考えの方の加入をお待ちしています。私たちの手で、夢のある未来を築いていきましょう!

《あなたも会員に!》

あなたも、人材育成の活動へ参加しませんか?

『木綿の会』会員登録は簡単です。財団事務局、または、お近くの財団役員の方へお申込みをしていただくだけです。

年会費は次の通りです。

個人会員	一口	1,000円
団体会員	一口	10,000円

会費納入の時期は、原則として、9月～11月の期間となっていますが、事務局へご連絡いただければ、1年のうちご都合の良い時期でも結構です。詳しくは事務局へお問い合わせください。

〔事務局連絡先〕

0977-85-4748 (後藤まで)

もしくは、お近くの財団役員まで

ボランティアスタッフ 募 集!

人材育成ゆふいん財団を支えてくれるスタッフを募集しています!

年齢・性別は問いません。

得意とする分野で、あなたの力を発揮してください!!

たとえば・・・

- *湯布院の伝統に興味がある。
- *パソコンの操作に自信がある。
- *文章を書くことが大好き。
- *子どもたちと一緒に何かしたい。
- *体力には自信がある。
- *人とのつながりを作りたい。
- *とにかく何かしてみたい。

よろしく願います!

ありがとう ございます

寄附のご報告

特別ご寄附をいただきました。

香典返しとして

溝口 博	さまより
30,000円	
安部 順一	さまより
30,000円	
大隈 美信	さまより
50,000円	
佐藤 雄也	さまより
50,000円	

ありがとうございました。財団運営に有意義に活用させていただきます。

【編集後記】

9月から10月にかけて、各小中学校で行なわれた運動会。みんなの一生懸命頑張る姿、友達同士で励ましあう姿、そして成長した我が子を追う親の目、色んな場面でたくさん感動をいただきました。ありがとうございました。

私自身、力を合わせて一つのことをやり遂げていくことの難しさを体感し、最近では逃げ腰になってしまいがちなのですが、今回運動会を見学させていただき、とても大切なものを教えてもらったような気がします。

将来この町を担っていく子どもたちが、今この町で一生懸命頑張っている姿を見ることが出来てよかった・・・☆

事務局*後藤